

福島県地球温暖化防止活動推進員 活動事例紹介 ～あいづめぐるフェスタ～

会場：福島県環境創造センター 交流棟 コミュタン福島
日付：2024年4月26日(金)



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

福島県地球温暖化防止活動推進員
佐藤涼子



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

1, 自己紹介

- 佐藤涼子
- 主な活動地域:会津
- 推進員になったきっかけ:地球温暖化を食い止めることに貢献したい。
- 日頃心掛けてしている温暖防止活動など:節電、環境に負荷の少ない商品の使用(洗剤、プラスチックフリーなど)、農薬、化学肥料を用いない野菜の栽培
- 推進員になってよかったことや悩んでいることなど:推進員という肩書で活動出来ると興味を持ってもらいやすい。もっと他の推進員の方とも繋がりをもち、一緒にイベントなどが出来るとなお良い。
- 資格など:ナチュラルフードコーディネーター、野菜ソムリエ

令和6年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

2, 活動の紹介

- 日時: 2022年11月13日、
2023年11月19日(10~15時)
- 場所: 会津坂下町八幡コミュニティセンター
& 本の森
- 活動の目的: イベントを通して、私たちが選ぶ日々の暮らしが、世界に、地球にどう繋がっているのかを感じてもらいたい。
- 内容
 - (1) 環境や健康に配慮した食や農のマルシェ
 - (2) 自然素材を使用したワークショップ
(段ボールコンポスト作り、薪割りなど)
 - (3) 活動展示



第2回あいづめぐるフェスタYouTube動画⇒



令和6年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

3, 活動の成果と反省点

●反省点

(1) マルシェやワークショップがメインとなり、活動展示は一部の関心のある方にしか見てもらえていないように感じた。

(2) 実行委員の数が少ない為、準備、当日の運営も一人の負担が大きくなっている。

●参加者の反応と質問

- ・新米振る舞いの皿を笹の葉を使用したことで、環境に配慮していることが伝わった。
- ・会津にもこのような健康や環境に配慮した生産者がいることを知ってもらえた。

●成果

環境に配慮した商品を選ぶことや、暮らしについて考えるきっかけを作ることができた。

●この活動で得られたこと

人々や地球の健康に役立つ商品を選ぶこと、電気を使わなくても、自然にある素材を使って楽しく遊べることを、子供から大人まで体感してもらうことができた。



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

4, 目指してること

●理想はどんなこと？

イベントを通して、地球のこと、身近にある自然のことを考えたり体感して、生活の中に取り入れてもらいたい。

●できてないことは何？

展示物への誘導、情報の発信

●なぜ、できないでいるの？

マルシェ、ワークショップが中心となってしまう、展示物への誘導、情報発信が弱かった。

●課題は？

展示物の内容、展示場所を工夫する。

イベント告知の際の情報の発信、会場内での誘導を改善する。

または、マルシェ、ワークショップとは別に、勉強会やDVD鑑賞などの時間を設ける。

令和6年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

5, まとめ

●これからやってみたいことは？

自然エネルギーを使って何か製作したり、体験してもらうことで、エネルギーについて考えるきっかけとなるような催し
(ソーラークッカー製作、オフグリッド講座、自転車自家発電の体験コーナーなど)

マルシェやワークショップなどの楽しい時間の中で、自分の暮らしが地球と繋がっていることへの意識が向くような体験を取り入れていくことで、地球に暮らすひとりひとりが地球に優しい生き方を選んでいくことが出来るようになると、これからの地球は良い方向に向かっていけるのではないかと期待しています。まずは気づいてもらうこと。そのきっかけをこれからも作っていきたいと思います。